



まちなか鳳雛塾の様態替え

最近まちなか鳳雛塾の塾生も増え、教室はいつも賑わっています。塾の玄関口であるラーニングcommonsはおしゃべりや食事、ゲームなど自由に過ごせるフリースペースですが、夕方頃はいつも満席です。また、奥のエデュケーションスペースでは毎晩活気ある授業や勉強風景が見られます。

そこで、4月中旬から新年度に向けて、教室の机や椅子の配置替えを行いました。各部屋のテーブルを増やして席数を増やす、生徒スペースを広げる、本棚を増設するなど利用者が増えても広々使えるように変更されています。また、各部屋に置かれたパソコンは自由に使うことができ、特に生成AIを利用して質問対応ができるように常時セッティングされています。

まちなか鳳雛塾が多くの生徒に利用されていることはとても嬉しいです。まちなか鳳雛塾は、生徒一人ひとりの「やりたい」「学びたい」に応える柔軟な学習環境づくりを進めていきます。

総合的な探究の時間 — 伴走者研修を実施しました

新年度の始まりに合わせて、能登高校の教職員、高校魅力化スタッフを対象に「総合的な探究の時間（通称：総探）」の伴走者研修が4月初旬に実施されました。総探は、生徒が自ら問いを立て、地域と関わりながら学ぶことを目的とした探究型学習であり、能登高校ではこの取り組みを2019年度から継続しています。

今年度の研修も、昨年同様にワークショップ形式で行われ、能登高校魅力化プロジェクトのスタッフと教員がともに参加しました。今までの伴走者としての経験を振り返るなかで、「うまくいった実践」や「課題を感じた場面」について率直な意見が交わされ、現場の知見や経験が共有されました。

特に今年度は、「生徒の探究を地域とどうつなげていくか」や、「個々の関心を深掘りし、より意味のあるアクションに結びつけるために何ができるか」といったテーマに焦点が当てられ、実践的な意見交換が行われました。研修を通じて印象的だったのは、教員同士が立場や経験年数にとらわれることなく、生徒の成長や学びの姿について真摯に語り合う場面が多く見られたことです。

とりわけ、新たに着任された教員の方々の素朴な問いかけに対して、経験豊富な教員が自身の失敗や成功を交えて応じる場面では、チーム能登高の信頼と探究に対する共通の姿勢が感じられました。「探究のための探究」とも言えるこの時間は、生徒に寄り添い、問いとともに向き合う伴走者としての意識を再確認する貴重な機会となりました。

総探は、地域社会と高校生をつなぐ重要な教育活動の柱であり、その運営には教職員と外部スタッフの連携が欠かせません。今年度も、能登高校の総探が生徒の主体性を引き出し、地域と深く関わる学びへとつながっていくよう、私たち能登高校魅力化プロジェクトは引き続き支援を行っていきます。

新スタッフが2名着任 — 若者が「学び」に向き合うために能登へ

2025年度のスタートとともに、能登高校魅力化プロジェクトには2名の新たな若者がスタッフとして加わりました。いずれも現在大学在学中でありながら休学を決意し、能登町に移住して本プロジェクトに参加しています。

橋本光さんは、関西学院大学総合政策学部在学中の2年生。また、海外留学の経験を活かして、英語科の学習支援を中心に、高校生の進路サポート、特に留学や国際系学部への関心を持つ生徒への伴走に取り組んでいます。

杉林拓望さんは、東京海洋大学に在学する2年生で、水産資源や海洋環境、漁業について専門的に学んでいます。着任早々から能登高校の水産コースの授業に参加し、生徒と共に漁業に関わる実習の場に立ち会っています。海や魚のことが大好きで、ひたむきに自分の興味関心に向き合う姿勢は、生徒たちの探究心を刺激しており、今後、地域学や総探の授業にも積極的に関わっていく予定です。

以下、新スタッフからのコメント

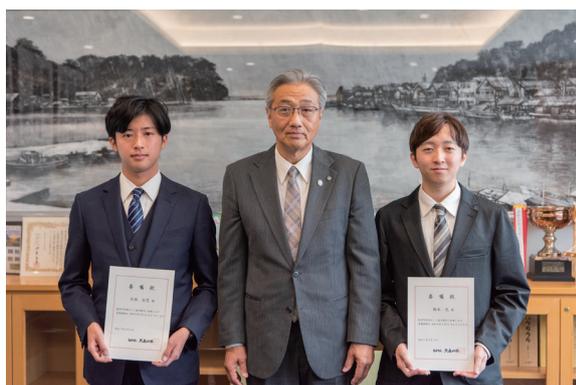
橋本光

世の中が目まぐるしく変わる世の中で生き抜くために現在、教育にはさまざまなことが求められています。私たちは大人になっても一生、常に学び続けなければなりません。それは、机上の学びだけではなく様々な活動や学習にチャレンジして得られる学びもあります。能登高生は机上の学びに捕らわれない様々な学びを得られる機会があります。その学びの機会を深く探究的な学びを通した大きな成長へと繋げられるよう、精一杯サポートして参りたいと思います。

杉林拓望

皆さんの好きなことは何ですか？

僕は魚と能登が好きです。そんな自分の「好き」を追いかけて、今年から僕は「まちなか鳳雛塾」のスタッフになりました。自分の好きなことを、好きな環境で追いかけることができる日常はとても楽しく、人生を豊かにする一つの秘訣だと思っています。だからこそ、いま「自分の好きなことが分からない」「自分が何をしたいのか分からない」と悩んでいる高校生の皆さんが、自分なりの豊かな人生を歩めるよう、そのお手伝いができたらと願っています。そのために勉強が必要であれば勉強を支え、活動が必要であれば活動を支える——そんなふうに、僕自身も柔軟に形を変えながら、皆さんの将来に貢献していきます。何卒よろしく願いいたします。



▲着任式



▲総探 伴走者研修